

## 1 市の概要

人口	135,154人
保護率	1.25 %

## 2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当 (件) 一月当たり	14.4
プラン作成件数人口10万人当 (件) 一月当たり	2.0
就労支援対象者数人口10万人当 (件) 一月当たり	0.9
就労・増収率 (%)	71.4

## 4 事業実績（H30年度）

実利用者数	うち生活困窮	うち生活保護
	26人	6人 (いずれも中学生)

## 5 事業実施のポイント ～みんなとつくる居場所～

### Point

子どもの支援を通じて、地域住民の交流の場に発展



中学生もボランティアもフラットな関係になるように、会場ではニックネームで呼んでいます。名札は自分で作るので個性が出ます。

会場の設営と片付けはみんなで行います。それぞれが役割を持ち、「ありがとう」と言い合える時間です。机などの配置もみんなで作ります。

勉強の時間の合間と終わりにボランティアの大学生が企画したレクを行っています。勉強が嫌いな子も大活躍をみせます。写真は絵しりとりをしている様子です。



H30年度 ティキャンブ

地域の方たちの協力を得て、夏休みにはいつもの会場を離れ、イベントを行いました。

H29年度 流しそうめん



## 3 実施方法について

実施方法	直営
事業費	335千円（平成30年度）
理由 (直営)	○学校や教育委員会、関係部局との連携が図りやすい。 ○自立相談支援事業も直営で行っており、対応する職員も同じであるため、参加している子どもの親からの生活相談へつながるきっかけとなっている。
事業概要	○中学1年生から3年生が対象。毎週1回17:30～19:30に大学生のボランティアなどが中心となり、子どもたちの居場所や学びの場の提供を実施。 ○人員体制：2名（自立相談支援事業と兼務）
課題・対応	○生活保護CWへ協力を依頼して参加を呼びかけ。学校や子育て支援課などへ周知し、参加の提案や情報提供を実施。 ○市内の社会福祉法人などに周知し、大学生の実習生らに声をかけてもらい、大学生ボランティアを募っている。また、県内の大学を訪問し、大学生へ事業の説明などを実施。
その他 特記事項	○木更津市社会福祉協議会が自主事業として、週1回別の地域で同様の事業を実施。 ○大学生ボランティア団体が、市内で行われている子ども食堂における出前寺子屋の実施や、地域のイベントにおいてもボランティアや活動の発表をするなど活躍している。

## 6 取り組んで良かったこと

○学習支援事業がひとつのきっかけとなり、地域の方たちが子ども食堂を月に1回同じ会場で開催してくださっています。その輪は広がり、市内で5ヶ所開催され、地域の様々な年代の方の交流の場となっています。